

習志野市教育委員会会議録
(平成21年第6回定例会)

- 1 期 日 平成21年6月24日(水)
習志野市教育委員会事務局大会議室
開会時刻 午後3時00分
閉会時刻 午後3時25分
- 2 出席委員 委 員 長 青 木 克 己
委 員 澤 村 洋 子
委 員 栗 原 伸 夫
委 員 鈴 木 大 地
委 員 植 松 榮 人
- 3 出席職員 教育総務部長 柴 崎 一 雄
学校教育部長 若 崎 光 美
生涯学習部長 加 藤 清 一
教育総務部参事 秋 田 博 義
学校教育部参事 鶴 岡 智
学校教育部次長 押 田 俊 介
生涯学習部次長 早 瀬 登 美 雄
教育総務部・学校教育部副技監 勝 見 博
学校教育部副参事 井 上 隆 夫
生涯学習部副参事 鈴 木 善 博
生涯学習部副参事 黒 崎 清
企画管理課長 井 澤 元 行
施設課長 飯 塚 和 夫
社会教育課長 星 昌 幸
青少年課長 寄 主 義 之
教育総務部主幹 牧 野 岳 彦
教育総務部主幹 佐々木 重 春
教育総務部主幹 宮 崎 雅 博
学校教育部主幹 江 川 陽 史
学校教育部主幹 鈴 木 博
学校教育部主幹 生 駒 敏 子
学校教育部主幹 土 屋 美 恵 子
学校教育部主幹 村 山 美 代 子
学校教育部主幹 上 岡 充 直
生涯学習部主幹 及 川 隆 志
生涯学習部主幹 飯 島 稔
生涯学習部主幹 浅野目 俊 紀
学校教育課主任管理主事 江 口 和 夫

4 会議内容

委員長が

平成21年習志野市教育委員会第6回定例会の開会を宣言

委員長が

会議規則第15条の規定により、議案第22号を非公開とすることについて諮り、全員異議なく非公開と決定された。

委員長が

本日の日程について諮り、議案第22号を協議事項の後に審議することについて諮り、全員異議なく提案どおり決定された。

委員長が

平成21年第5回定例会の会議録について承認を求め、全員異議なく承認された。

報告事項(1) 平成21年度学校基本調査の結果について

(企画管理課)

企画管理課長が

学校基本調査は、文部科学省が全国の幼稚園から大学までのすべての学校を対象に、学校数、学級数、在学者数、教職員数などの学校教育に係る基本的事項について、5月1日を基準日として毎年1回実施しているものである。調査結果は、年次的推移を追った教育計画立案の際に活用されるなど、教育行政上の基本資料となっている。

まず園児数は、市立14幼稚園の園児と東習志野こども園の短時間児を合わせ、51クラス、1,274人の子どもたちが在園している。昨年度と比較すると、4クラス、12人減少した。市立16小学校に在学する児童数は、316クラス、9,250人で、1クラス、9人の増加、市立7中学校の生徒数は、124クラス、3,917人で、5クラス、62人の増加、習志野高等学校の生徒数は、32クラス、1,115人で、昨年度から増減はなかった。

以上合計すると、市立幼・小・中・高等学校における学級数、在籍者数は、523クラス、15,556人となり、昨年度より、2クラス、59人の増加が見られた。

次に教職員数は、幼稚園84人、小学校511人、中学校251人、高等学校87人であり、合計933人、昨年度比5人の減となっている。そのうち教諭数は、小学校376人で昨年度と同数、中学校197人で、5人の増加、高等学校87人で昨年度と同数であった、とその概要を報告

委員が

資料には、市立幼稚園に在園している子どもの人数のみ記載されているが、市内の4歳児と5歳児の人口も比較対象とすると、実態の把握がしやすいのではないか、と質問

企画管理課長が

学校基本調査に基づく資料なので、4歳児と5歳児の人口は記載されていないが、後日、参考資料として提出させていただきたい、と回答

委員が

二中が30クラスとなっているが、学校の規模として、学校運営上どの程度を上限と考えているのか、と質問

企画管理課長が

毎年学級推計を実施し、年度毎の生徒数、クラス数を予測している。推計値に基づいて施設や学校運営上の問題に事前に対処できるようにしている、と回答

委員が

あまりにもクラス数が多くなると学校運営や授業に支障が出る恐れがある。推計値を基に計画的に対応していただきたい、と要望

委員が

今後、マンションの開発等により、東習志野小や四中も児童・生徒数が増えていくことが予想される。計画的に対処できるよう検討をお願いしたい、と要望

委員長が他に質疑なしと認め、報告事項（1）は了承された。

**議案第21号 平成22年度習志野市立習志野高等学校第1学年入学者選抜要項の
制定について** (学校教育課)

学校教育部次長が

習志野市立高等学校管理規則第24条の規定により、平成22年度習志野市立習志野高等学校第1学年入学者の選抜要項を制定するものである。募集定員は、全日制の課程で、普通科6学級240名、商業科2学級80名、定時制の課程で、普通科1学級40名、商業科1学級40名である。なお、定時制の課程については、平成23年度から入学者の募集を停止するため、本議案の承認後、千葉県下全ての市町村教育委員会へ本要項を配布する予定である、と概要を説明

委員が

中国等引揚者子女の特別入学者選抜について、志願者はどのくらいいるのか、と質問

学校教育部次長が

現実には志願者はいない、と回答

委員が

定時制の課程の生徒募集を停止することについて、県との協議はどうなっているのか、と質問

学校教育部次長が

県と協議をしてきた中で、県立高等学校再編計画には市立高等学校を組み込むことはできないが、習志野高等学校定時制の課程の生徒募集を停止しても、県立高等学校定時制で受け入れることは可能であると認識している、と回答

委員長が他に質疑なしと認め、採決の結果、議案第21号は全員賛成で原案どおり可決された。

協議第1号 次回教育委員会の期日について協議し、平成21年7月22日（水）午後3時に決定された。

<議案第22号は非公開>

**議案第22号 平成21年度教科用図書葛南東部採択地区協議会委員の選任について
(指導課)**

学校教育部副参事が

平成21年度教科用図書葛南東部採択地区協議会委員の選任について概要を説明

採決の結果、議案第22号は原案どおり可決された。

委員長が

平成21年習志野市教育委員会第6回定例会の閉会を宣言